

FOCUS

追いかける。大学生。

単位互換制度の現状

複数の大学で提携

みなさんは単位互換制度を利用したことはあるだろうか。一口に「単位互換」と言っても、規模や形態など様々なものがある。今回はその中でも複数大学による組織「大学コンソーシアム」や大学当局などに取材を行い、現在の関西の大学における単位互換の実情に迫った。

単位互換制度とは？

自分が通う大学と異なる大学で開かれている講義を受け、それが自分の大学における単位として認定される制度。他の大学の学生と関わることができ、それぞれの大学にない専門的な講義も受けることができるというメリットがある。

関西には、全国的にも最大規模の単位互換制度がある。京都にある大学や地方公共団体、経済団体によって運営される「大学コンソーシアム京都」が実施している単位互換制度だ。1994年に「京都・大学センター」として発足したときから行っているもので、当時は単位互換制度に28大学・短期大学が参加していた。そして現在では51大学・短期大学が参加し、さらに広がりを見せている。担当者は「学生や大学に向けた満足度アンケートでも高い評価がもたらされていて、多くの人に利用されていると思っています」と話す。

関西には、全国的にも最大規模の単位互換制度がある。京都にある大学や地方公共団体、経済団体によって運営される「大学コンソーシアム京都」が実施している単位互換制度だ。1994年に「京都・大学センター」として発足したときから行っているもので、当時は単位互換制度に28大学・短期大学が参加していた。そして現在では51大学・短期大学が参加し、さらに広がりを見せている。担当者は「学生や大学に向けた満足度アンケートでも高い評価がもたらされていて、多くの人に利用されていると思っています」と話す。

一方、同じ関西でも「大学コンソーシアムひょうご神戸」の単位互換制度は発展途上。試行期間を経て、制度を開始したのが2011年4月とまだ日が浅い。そのためコンソーシアムに加盟している44大学・短期大学・高等専門学校のうち、実際に単位互換制度に参加しているのは18大学・短期大学とまだ少ない。背景には、兵庫の東西にも南北にも広い地理的側面や、大学が点在しているため、利用するには移動時間や交通費の負担が必要となる点がある。これらの課題を解消するため、今年9月には現役のマスコミ関係者を招いた短期集中

「取りに行く」単位



「西宮市大学交流センター」による共通単位講座「センター科目」の様子。様々な大学の学生や社会人たちが共に学ぶ。

講義を開講するなど、より学生が利用しやすいようになるようにと試行錯誤している。担当者は「準備はしているのでもっと活用してほしい。学生からの意見や要望があれば、できる限り取り入れていきたい」と話した。

兵庫県内では他にも「西宮市大学交流センター」が、単位互換制度の一つとして共通単位講座を開いている。その中でも「センター科目」は、大学ではなく交流センターの講義まで授業を行うというものが、今年度は普通の講義ではあまり見られない、歌舞伎の

講義などが行われている。会場が阪急西宮北口駅と直結しており、他の大学に行くよりも参加しやすくなっている。しかしそれでも「チラシなどによる宣伝はされているけど、学内での認知度がまだ低いと思う」と実際に講義に参加する男子学生（関西学院大・2年）は話す。

大学がどれだけ積極的に広報活動を行うか、アクセスの問題をどう解消するか、いかに魅力ある内容の講義を開講するかが、今後さらに制度を広げていくための力がかもしれない。

UNN関西学生報道連盟

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>

共同編集室 〒532-0011 大阪府淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F

(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) info@unn-news.com